

令和2年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ナシ黒斑病

令和2年7月22日
鳥取県病害虫防除所

表1 ナシ黒斑病の果実における発病率（令和2年）

地 区	ポリ袋検定法による 幼果の発病率 ¹⁾ (%)			被袋果実の発病率 (%)					
	本 年	前 年	平 年 ²⁾	6 月			7 月		
				本 年	前 年	平 年 ²⁾	本 年	前 年	平 年 ²⁾
河原町	0	62.0	6.8	5.0	0	2.0	6.7	10.0	5.0
佐治町	1.0	8.0	2.5	13.3	1.7	2.2	36.7	10.0	6.0
青谷町	0	1.0	— ³⁾	1.7	0	— ³⁾	6.7	1.7	— ³⁾
八頭町	0	0	0.2	0	0	0.3	0	0	0.3
湯梨浜町（別所）	0	3.0	0.5	0	0	0.2	0	0	0
湯梨浜町（勝負谷）	1.0	4.0	0.9	1.7	0	0.2	0	0	0
倉吉市	0	1.0	0.5	0	0	0.3	0	0	0.8
北栄町（園試）	0	2.0	1.8	5.0	1.7	2.8	6.7	3.3	9.2
琴浦町	0	3.0	1.0	0	0	0.5	0	0	1.7
大山町（中山1）	1.0	3.0	1.2	0	1.7	0.7	0	1.7	1.2
大山町（中山2）	0	3.0	— ³⁾	0	0	— ³⁾	0	0	— ³⁾
南部町	0	2.0	— ³⁾	1.7	1.7	— ³⁾	3.3	0	— ³⁾
平 均	0.3	7.7	1.7	2.4	0.6	1.0	5.0	2.2	2.7

(注)

¹⁾ 1園当たり100果について調査(試料採取：4月26日、29日、5月2日、採集後23℃に3日間静置し、発病果率を算出)

²⁾ 平成22～令和元年の期間のうち2年以上の値の平均値（最大10年）

³⁾ 令和元年から調査地点を変更した。

<要約>

幼果の平均発病果率は5.0%（平年：2.7%）であり、平年に比べてやや高かった。

令和2年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ナシ黒斑病

令和2年7月22日
鳥取県病害虫防除所

表2 ナシ黒斑病の新梢葉の発病状況(令和2年)

地 区	新 梢 葉 の 発 病 率 ¹⁾ (%)								
	6 月			7 月			9 月		
	本 年	前 年	平 年 ²⁾	本 年	前 年	平 年 ²⁾	本 年	前 年	平 年 ²⁾
河原町	2.7	1.4	1.9	8.8	13.4	10.0		26.8	
佐治町	10.1	1.5	2.7	27.5	21.9	9.8		37.4	
青谷町	1.3	0.5	— ³⁾	5.1	1.3	— ³⁾		5.7	— ³⁾
八頭町	0	0	0.3	0.5	0.9	1.4		9.6	
湯梨浜町(別所)	4.7	0.5	1.3	5.2	1.0	1.6		1.9	
湯梨浜町(勝負谷)	3.6	2.4	0.9	1.5	4.7	1.5		15.8	
倉吉市	3.2	1.3	0.4	0.9	2.6	1.6		11.0	
北栄町(園試)	14.2	1.5	2.3	15.8	23.9	10.7		38.0	
琴浦町	5.7	0	0.7	3.1	4.0	3.0		10.6	
大山町(中山1)	0.9	0	0.2	0.4	0.9	1.9		6.4	
大山町(中山2)	2.7	1.8	— ³⁾	2.7	0	— ³⁾		1.4	— ³⁾
南部町	0	0	— ³⁾	2.1	0	— ³⁾		2.4	— ³⁾
平均	4.1	4.1	1.2	6.1	6.2	4.6		13.9	

(注)

- 1) 1園当たり10新梢について全葉数及び病葉数を調査
2) 平成22～令和元年の期間のうち2年以上の値の平均値(最大10年)
3) 令和元年から調査地点を変更した。

<要約>

新梢葉における発病率は6.1%(平年:4.6%)と平年並であった。

<対策>

今後、発病の多い園では、慣行防除に加えて追加防除を検討する。防除薬剤には、有機銅水和剤(キノンドーフロアブルまたはドキリンフロアブル)、アリエッティC水和剤、ベルコートフロアブルなどがある。